

# 「問題生態系計測研究会」の立ち上げについて

会長 井上吉雄

幹事 山野博哉

## 1. 研究会の概要

本研究会は、今年10月の理事会で設置が認められたばかりで、具体的な活動はまさにこれからというところですので。下記に趣意書の骨子を掲載しますので、関心のある多くの皆様に参加していただき、個別の研究成果を通してだけでなく、研究会の活動を通して生態系問題に貢献できればと考えております。

### 設置の背景と目的

人間の生活の安全、安心を支える食糧・住環境・生活環境の確保と保全は、農・林・草・都市・水域生態系の構造と機能に直接・間接に大きく依存し、人間活動はこれらの生態系の変化と一体となってダイナミックに変動しています。しかし、近年、特にこれら各種の生態系における土地、水、植生、環境因子等の質と量の劣化が国内および世界各地で顕在化し大きな問題になっています（ここではこれらを問題生態系と総称します）。これらの問題生態系では、時空間的な変動を広域的にとらえ、評価し、変動の要因を解明することが不可欠であるとともに、衛星データによってしか基本データが得られないなどの地域も少なからず存在します。すなわち、リモートセンシングをはじめGIS・モデル等空間情報技術による計測・評価は、問題生態系の研究と問題解決にきわめて重要な役割を果たすものです。

そこで、本研究会では、陸域・水域にわたって遍在する各種の問題生態系を対象としたリモートセンシング等空間情報技術による計測・評価研究にかかわる横断的な情報交換、国内外の研究連携、学術的提言を進めることを目的とします。それにより、リモートセンシングをはじめとする空間情報技術の多方面への利用促進と問題解決への貢献をめざします。

## 2. おもな活動内容

活動方針は以下のとおりです。基本的に春秋の学術講演会開催時に合わせて小集會を持ちたいと考えています。

地球上の農・林・草・都市・水域・海域等の広範な生態系のうち、食糧生産・生活環境等の確保と保全に関して特に問題となっている生態系の構造と機能に関する研究取り組みを主たる対象とします。リモートセンシング等空間情報技術の活用を通じた、生態系問題の解決に向けた取り組み方、手法、データ、人材育成等について、分野横断的な情報の交換ならびに研究連携、学術的提言の促進を進めます。

- 1) メーリングリストを開設し、問題生態系に関する話題を随時議論する。
- 2) 広範な生態系問題に関し、具体的なテーマを設定して、随時ワークショップ類を開催する。
- 3) ホームページを開設し、学会内外に研究内容や提言等を発信するとともに、オープンな論議を行う。
- 4) これらの活動に基づいて、関連各分野の問題に関するレビューの共同執筆や刊行を行うとともに、連携研究や相互支援の促進、国内外のネットワーク形成を図る。
- 5) 研究会の開催や報告について学会誌やホームページで発信、報告する。

## 3. 連絡先

井上吉雄 e-mail : yinoue@affrc.go.jp

Tel : 029-838-8220, Fax : 029-838-8199  
〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3  
(独)農業環境技術研究所

山野博哉 e-mail : hyamano@nies.go.jp

Tel : 029-850-2477, Fax : 029-850-2219  
〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2  
(独)国立環境研究所